LIXIL 折板カーポート 採光タイプ（ポリカ折板）取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●施工は必ず専門の工事業者の方が行ってください。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

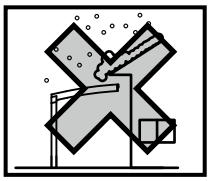
安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
お願い	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

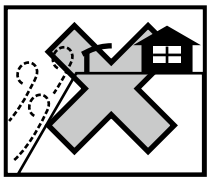
※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

＜施工の前に＞

注意

●日よけ・雨よけ以外の目的に本製品を使用しないでください。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的に、みだりに改造・変更をしないでください。
●設置場所の確認をしてください。
※施工場所の気象条件（風、雪など）に合った製品かどうか確認してください。
※建物の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
※強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。





●傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
●崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。また、片流れタイプの場合、風当たりの強い場所では、風にあおられない向きに取り付けてください。
●一つの現場で同時に異なるサイズを施工する場合は、本来の製品性能を保持するために、部材を間違えないように確認をしてから施工を行なってください。
●給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
●以下の機種は、ポリカ折板は取付不可となります。
・多雪地域用3000タイプ4本柱・奥行55・60仕様及び12・24/奥行28仕様、4500タイプ4本柱・6本柱、6000タイプ6本柱仕様の1山ポリカ折板。
・小屋根タイプ幅12/奥行28仕様の3山ポリカ折板。

D525_202609G
MAM-047G_202609

＜施工の前に＞（つづき）

注 意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●本製品施工の際は、D522（MAM-45）「取付説明書　－基本・横連棟－」、D524（MAM-48）「取付説明書　－縦連棟－」を併せてご使用ください。
●タイトフレームはポリカ用タイトフレームセットを使用してください。標準のタイトフレームセットではセット内のパッキンがポリカ折板を侵食することがあります。
●ボルト、ネジは当社指定品を指定本数使用し、ゆるまないように締付け固定してください。
●取付説明書の順序通り組付けてください。製品の強度等、性能を低下させる場合が発生します。
●ポリカ折板取付けの際は市販のスチール折板と合わせて使用してください。
※900タイプ以外の遮光タイプでt＝0.6のスチール折板を使用している場合はt＝0.8に替えてください。
※4500タイプ4本柱仕様は厚み1.0mmの折板を必ず使用してください。
●端部の屋根材にポリカ折板を使用することはできません。
●2枚連続してポリカ折板を取付けることはできません。
※連棟の場合は単体のおのおのが上記条件を満たすよう取付けてください。

＜基礎工事について＞

注 意

●基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めていますが、現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
●寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
●柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず砕石を敷き、柱と基礎の付け根部に水抜き穴（φ6）をあけてください。
柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
●モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリのコンクリート用混和材（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等）は使用しないでください。
使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
●設置する場所の条件により、基礎サイズが変わります。性能を発揮するためには、下記のような現地条件に応じて施工してください。①地盤の堅牢/軟弱さ（地耐力等）、②地盤内の埋設物の有無、③隣地境界線近くの設置、④別の構造物の基礎近くの設置
●コンクリート強度は18N/mm^{2}以上で施工してください。

お願い

●モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。
シミやムラ等の外観不良の原因になります。
●確認申請による設置の場合は、設置場所･現地地耐力度･設置条件によって基礎サイズが異なるため、確認して施工してください。

＜施工上のご注意＞

注 意

●シリコーンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等の原因になりますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
ダウ・東レ（株）	SE960

●ボルト、ネジは当社純正品の規定本数を使い 、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
製品の強度低下、またはケガのおそれがあります。

※φ4ネジ ：2.5N･m±0.5N･m (25±5kgf･cm)　　※M6ボルト：12.0N･m±0.5N･m (120±5kgf･cm)
※φ5ネジ ：3.0N･m±0.5N･m (30±5kgf･cm)

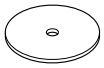
＜取付上のお願い＞

お 願 い

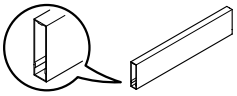
●幅600mm（3山）、幅200mm（1山）、山高88mm、山ピッチ200mm、板厚2mmのポリカ折板を現地手配してください。

■梱包明細表

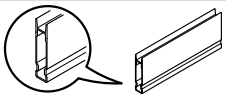
【1】ポリカ折板補強材取付部品セット

名称	略図	員数
ポリカ折板補強材取付金具		8
折板押えパッキン		6
折板押え金具		6
【1-1】M5六角ナット		4
【1-2】M5バネ座金		4
【1-3】M5×35トラス小ネジ		4
【1-4】φ5×13ナベドリルネジ		8
【1-5】φ4×16ナベドリルネジ3種		6

【2】ポリカ折板補強材セット

名称	略図	員数			
		L12	L28	L55	L60
ポリカ折板補強材		4	4	4	4

【3】ポリカ折板補強材連結部品セット

名称	略図	員数
ポリカ折板補強材連結材		4
【3-1】φ5×13ナベドリルネジ		35

■梱包明細表（つづき）

【4】タイトフレーム（ポリカ折板用）セット

名　称	略　図	員　数														
		梁1本用		梁2本用								梁3本用				
		幅18延長	幅80	幅18	幅24	幅30	幅36	幅48	幅55	幅60	幅80	幅30	幅36	幅48	幅55	幅60
タイトフレームエンド用（ポリカ用）		−	2	4	4	4	4	4	4	4	4	6	6	6	6	6
タイトフレーム中間用（ポリカ用）		2	12	4	6	8	10	14	16	18	24	12	15	21	24	27
ルーフボルトキャップ		6	40	20	26	32	38	50	56	62	80	48	57	75	84	93
折板固定用笠ワッシャー		6	40	20	26	32	38	50	56	62	80	48	57	75	84	93
折板固定用パッキン（ポリカ折板用）		6	40	20	26	32	38	50	56	62	80	48	57	75	84	93
【4-1】φ5×14ナベタッピンネジ3種		8	57	26	35	43	52	70	79	87	114	65	79	105	118	130
取付説明書<D525/MAM-47>	−	−	−	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

【5】タイトフレーム（塗装付・ポリカ折板兼用）セット

名　称	略　図	員　数								
		幅18	幅18延長	幅24	幅30	幅36	幅48	幅55	幅60	幅80
タイトフレームエンド用（ポリカ用）		2	−	2	2	2	2	2	2	2
タイトフレーム中間用（ポリカ用）		2	3	3	4	5	7	8	9	12
ルーフボルトキャップ		10	9	13	16	19	25	28	31	40
折板固定用笠ワッシャー		10	9	13	16	19	25	28	31	40
折板固定用パッキン（ポリカ折板用）		10	9	13	16	19	25	28	31	40
【5-1】φ5×14ナベタッピンネジ3種		13	13	17	21	26	35	39	43	57
取付説明書<D525/MAM-47>	−	1	−	1	1	1	1	1	1	1

【6】折板ボルトセット

名　称	略　図	員数
ルーフボルトキャップ		6
折板ボルト		6

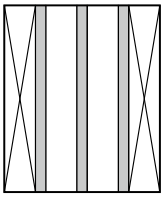
1. 施工前の重要確認事項

1-1 1山ポリカ折板の取付例

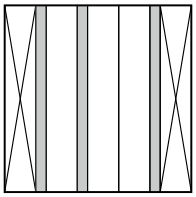
ポリカ折板取付位置

ポリカ折板取付不可位置

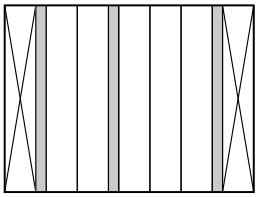
幅サイズ	スチール折板	ポリカ折板
30	4	3
36	5	3
48	7	3
55	7	6
60	8	6
80	10	9
30+48	11	6
36+48	11	9
36+55	12	9
36+60/48+48	13	9
48+18	9	6
55+18	10	6
60+18	10	9



幅30サイズ



幅36サイズ

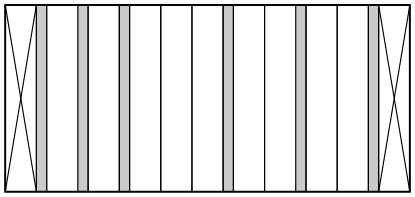


幅48サイズ

幅55サイズ

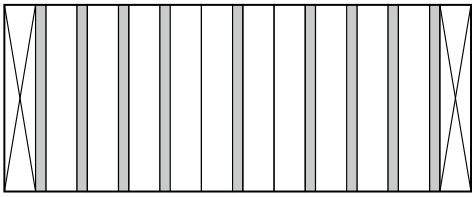
幅60サイズ

幅80サイズ

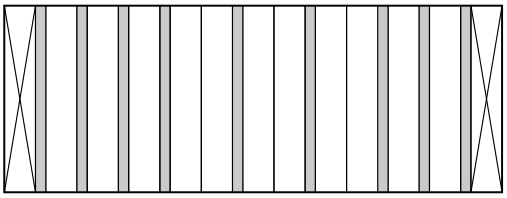


幅30+48サイズ

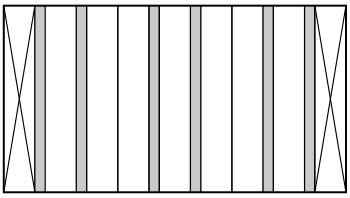
幅36+48サイズ



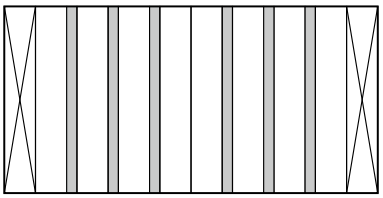
幅30+55サイズ



幅36+60/幅48+48サイズ



幅48+18サイズ



幅55+18サイズ

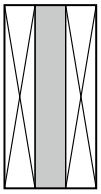
幅60+18サイズ

1. （つづき）

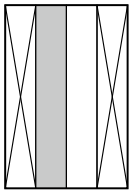
1-2　3山ポリカ折板の取付例

ポリカ折板取付位置

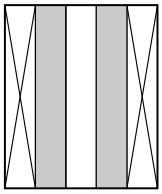
ポリカ折板取付不可位置



幅18サイズ

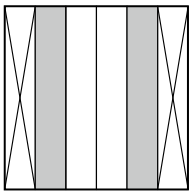


幅24サイズ

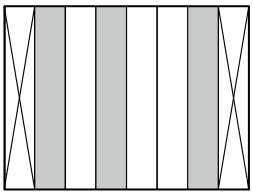


幅30サイズ

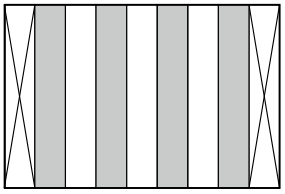
幅サイズ	スチール折板	ポリカ折板
18	2	1
24	3	1
30	3	2
36	4	2
48	5	3
55	5	4
60	6	4
80	8	5
48+18	7	4
55+18	7	5
60+18	8	5



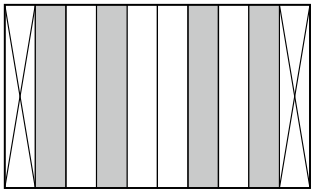
幅36サイズ



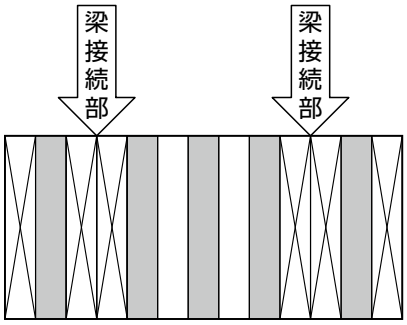
幅48サイズ



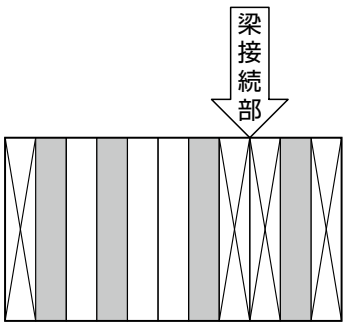
幅55サイズ



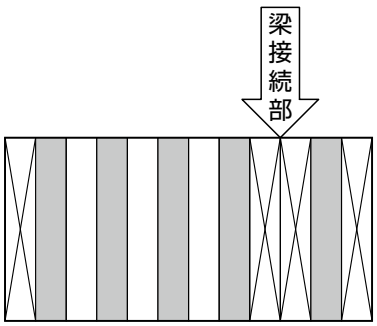
幅60サイズ



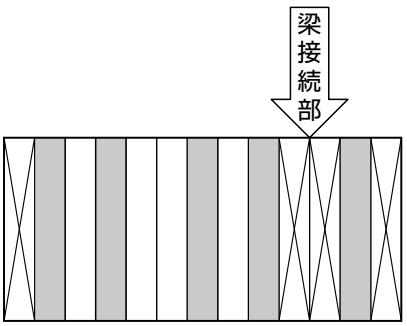
幅80サイズ



幅48+18サイズ



幅55+18サイズ



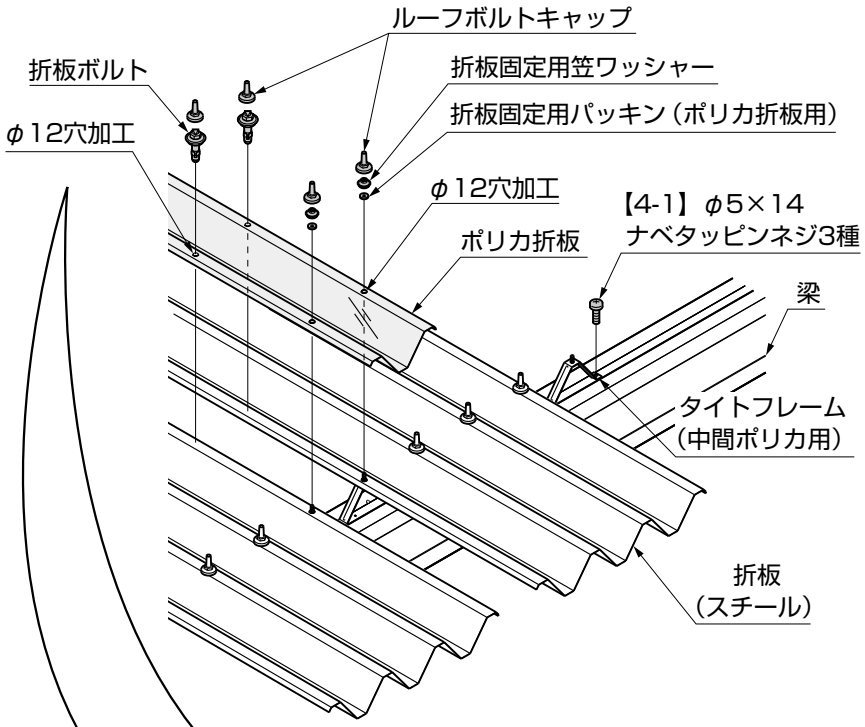
幅60+18サイズ

2. 1山ポリカの取付け

2-1　各部名称と取付手順

お願い

●4本柱・6本柱への1山ポリカ折板の施工には、タイトフレームへの固定とは別にスチール折板へ折板ボルトでの固定が必要になります。（8本柱はタイトフレームへの固定のみのため、折板ボルトは不要です。）
●折板ボルトは4本柱の場合、1山ポリカ1枚につき6箇所、6本柱の場合は8箇所取付けてください。



①スチール折板とポリカ折板に、タイトフレーム取付け用のφ12の穴加工をしてください。（図2-1、図2-2参照）

お願い

●穴加工位置の詳細は、各種取付説明書「折板加工位置図」を参照してください。

②ポリカ折板と折板固定用パッキン（ポリカ折板用）をタイトフレームに取付けてください。

お願い

●ポリカ折板がスチール折板の上になるようにしてください。
●ポリカ折板取付時はスチール折板部のパッキンがポリカ用のものになりますが、品質上問題はありません。

③ポリカ折板をルーフボルトキャップと折板固定用笠ワッシャーで固定してください。

④ポリカ折板と、ポリカ折板と隣接するスチール折板にφ12の穴加工をしてください。（図2-1、図2-2参照）

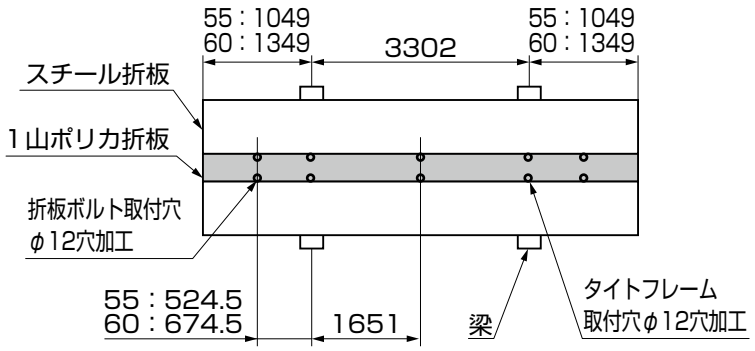


図2-1　穴加工位置（4本柱）

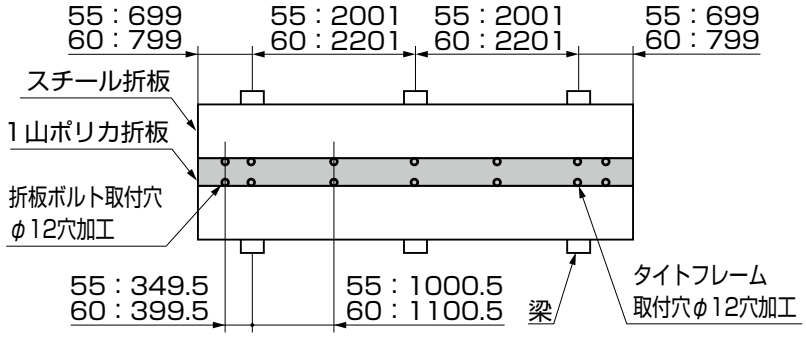


図2-2　穴加工位置（6本柱）

2. （つづき）

2-1 つづき

注 意

●折板ボルトは締めすぎに注意して下さい。折板へ穴をあけることがあります。
●折板が重なる部分の角度を合わせないと水漏れの原因になります。

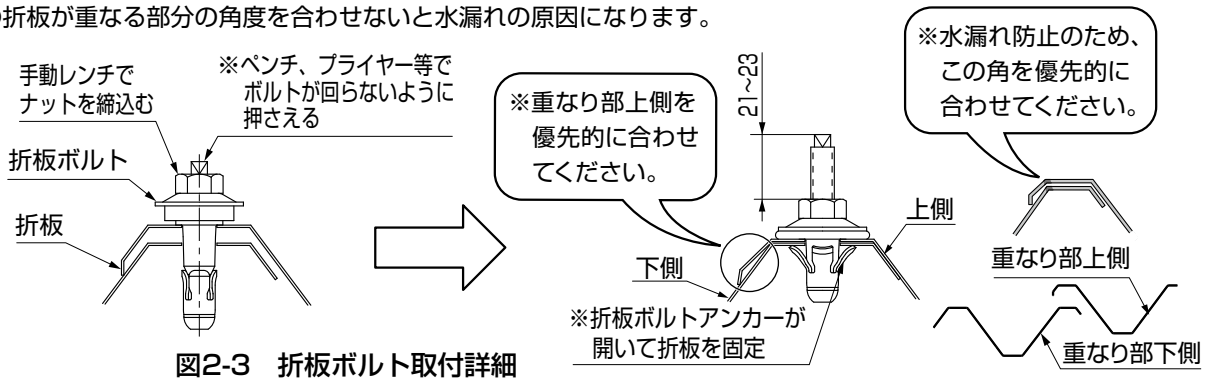
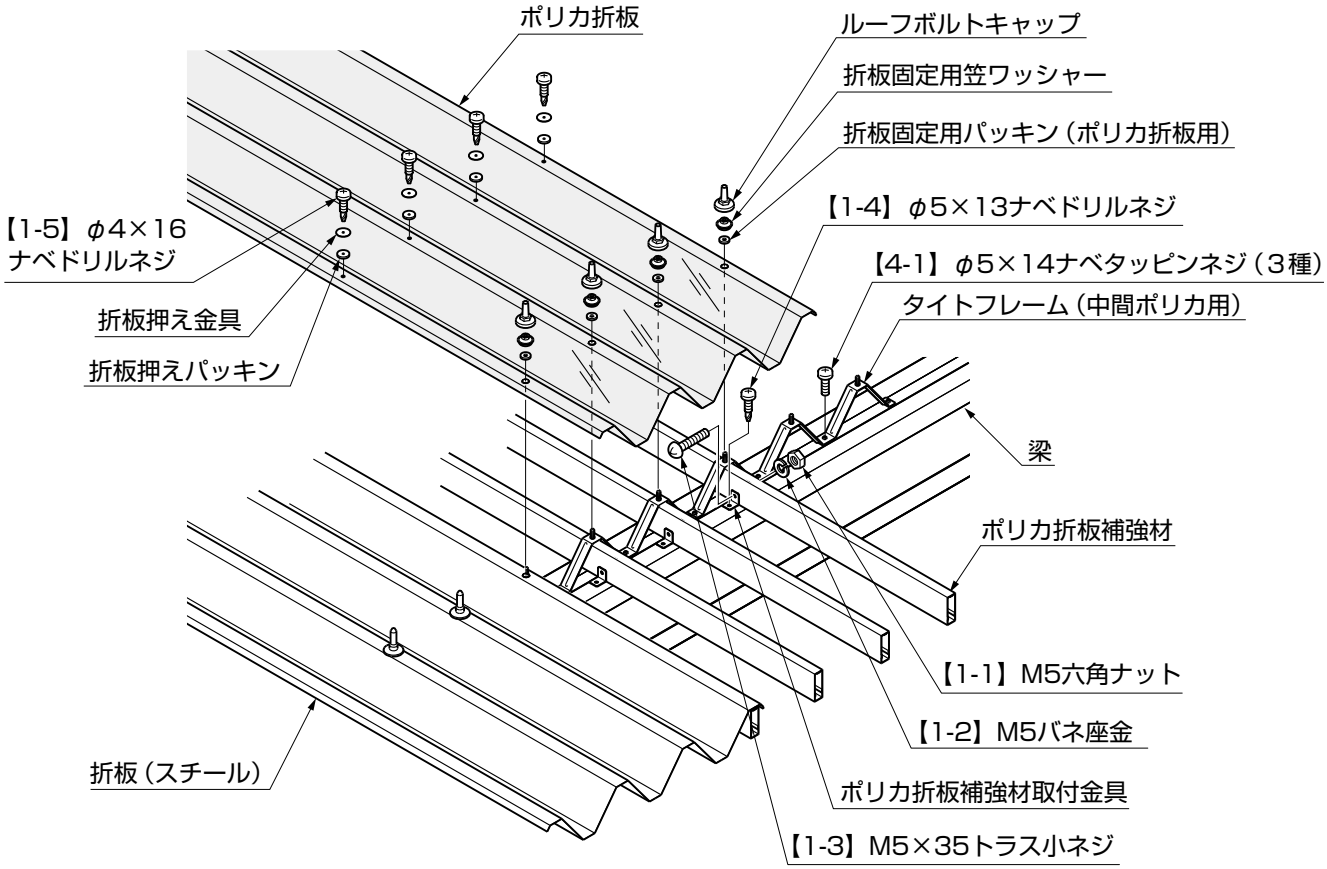


図2-3　折板ボルト取付詳細

⑤穴加工位置に折板ボルトとルーフボルトキャップを取付けてください。

3. 3山ポリカの取付け

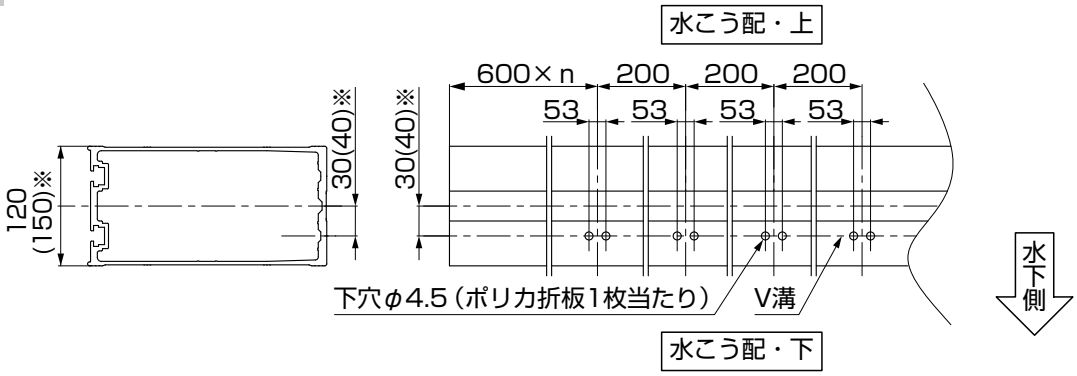
3-1 各部名称



お願い

●3山ポリカ折板、スチール折板、ポリカ折板補強材の奥行方向端面は同位置となります。

3-2 梁の加工

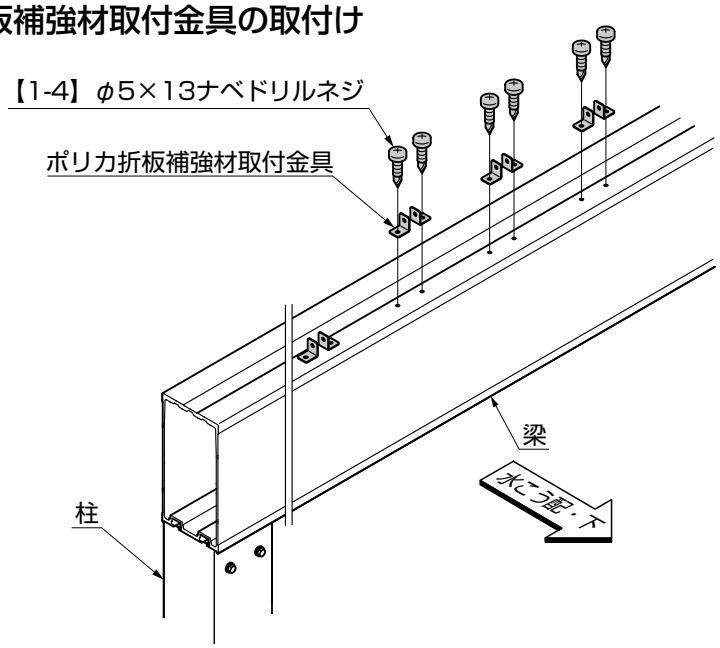


※：() 内の寸法は梁 260、280 の場合を示します。

図3-1

①ポリカ折板を取付ける範囲の梁上面で、図3-1の位置に、金具取付用のφ4.5穴加工をしてください。

3-3 ポリカ折板補強材取付金具の取付け



①梁にポリカ折板補強材取付金具を【1-4】で取付けてください。

3-4 ポリカ折板補強材 取付け前の準備

（1）基本仕様の場合　金具固定用の穴加工

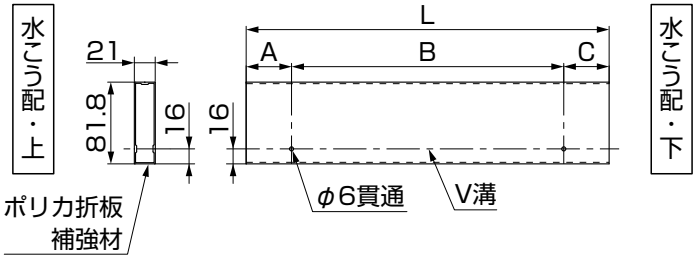


図3-2　梁2本仕様

表3-1　梁135、200、240の場合

	L	A	B	C
長さ55	5400	1079	3302	1019
長さ60	6000	1379	3302	1319

表3-2　梁260、280の場合

	L	A	B	C
長さ55	5400	1092	3302	1006
長さ60	6000	1392	3302	1306

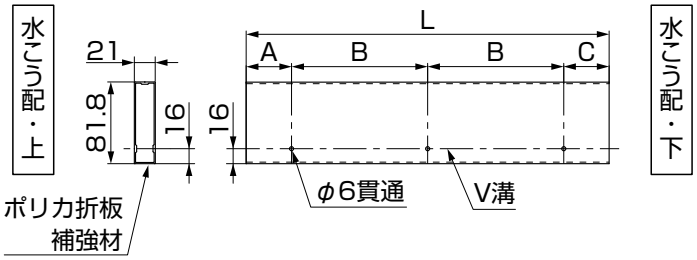


図3-3　梁3本仕様

表3-3　梁135、200、240の場合

	L	A	B	C
長さ55	5400	729	2001	669
長さ60	6000	829	2201	769

表3-4　梁260、280の場合

	L	A	B	C
長さ55	5400	742	2001	656
長さ60	6000	842	2201	756

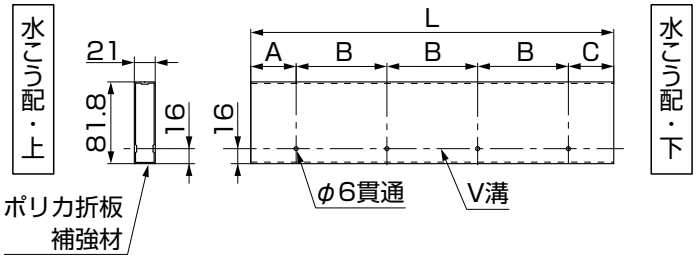


図3-4　梁4本仕様

表3-5　梁135、200、240の場合

	L	A	B	C
長さ55	5400	628	1401	569
長さ60	6000	628	1601	569

表3-6　梁260、280の場合

	L	A	B	C
長さ55	5400	641	1401	556
長さ60	6000	641	1601	556

①ポリカ折板補強材に金具取付用の穴加工をしてください。

お願い

●上記寸法は柱移動を行なわない場合の寸法です。
●柱位置などの詳細は、D522（MAM-45）「取付説明書 －基本・横連棟－」を参照してください。
●柱移動した際は移動した寸法分ずらして金具取付用の穴加工をしてください。

（2）縦連棟・長さ12延長仕様の場合　ポリカ折板補強材の連結

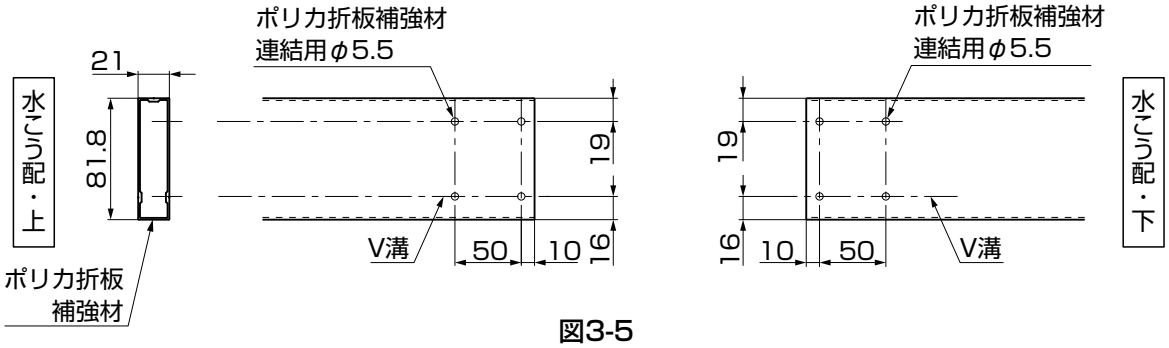


図3-5

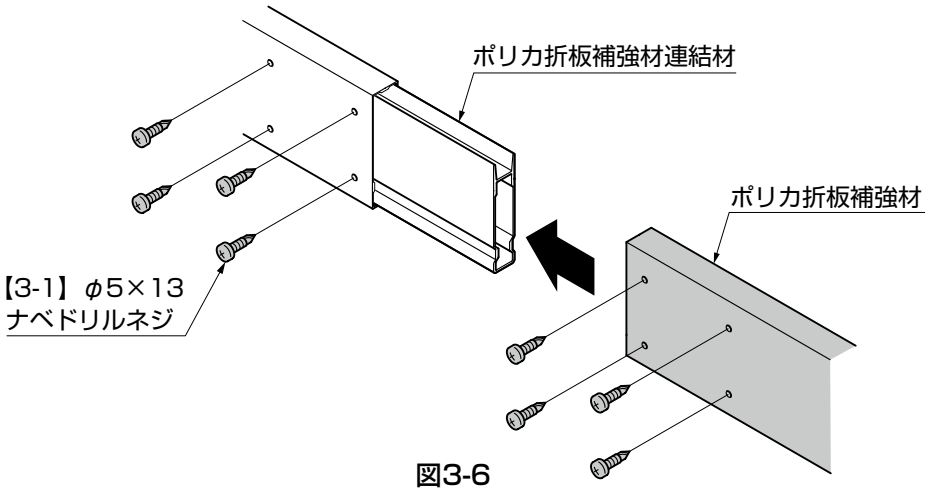
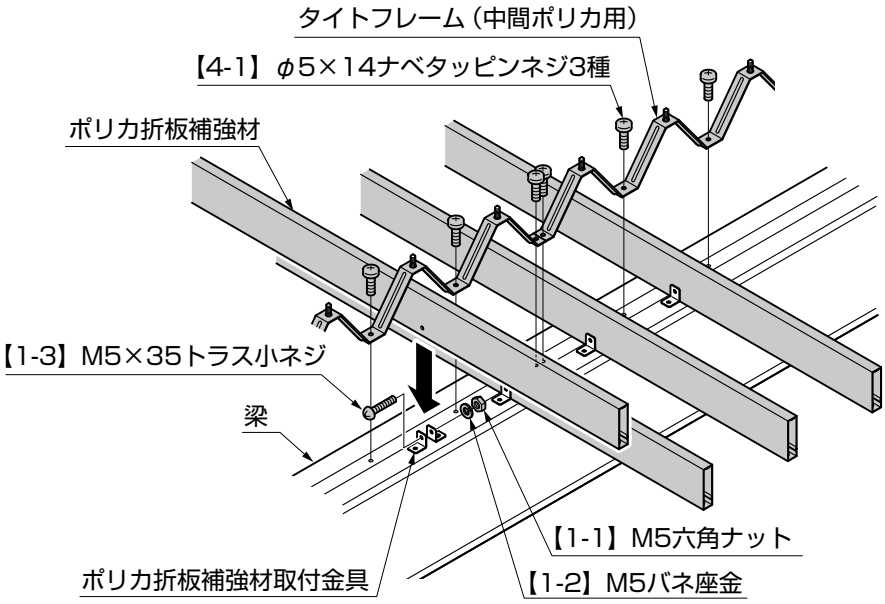


図3-6

①ポリカ折板補強材の連結部にポリカ折板補強材連結用の穴加工をしてください。(図 3-5 参照)
②ポリカ折板補強材にポリカ折板補強材連結材を【3-1】で取付けてください。（図3-6参照）

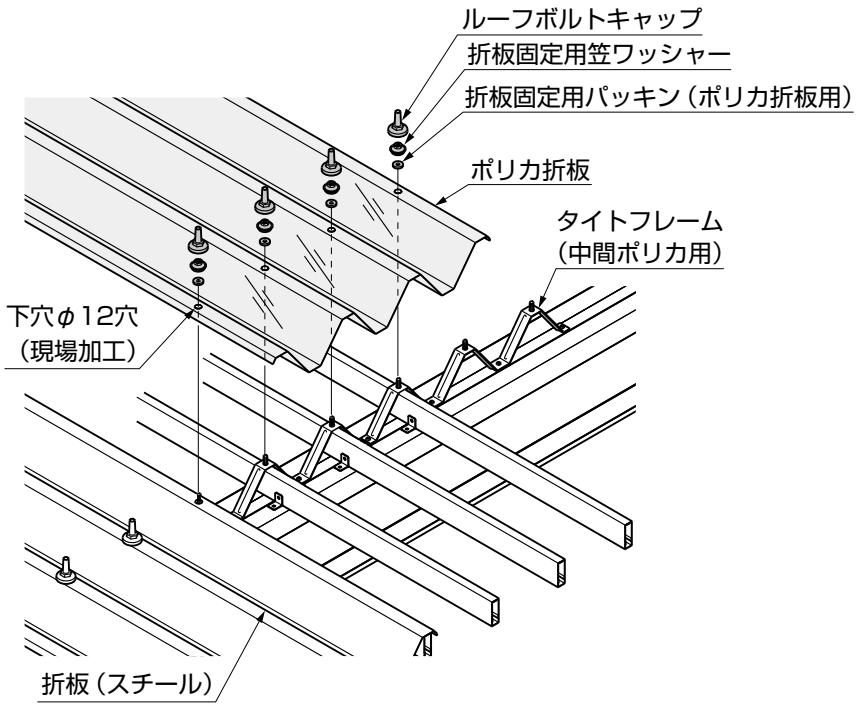
3-5　ポリカ折板補強材の取付け



①ポリカ折板補強材取付金具にポリカ折板補強材を【1-1】、【1-2】、【1-3】で取付けてください。
②梁にタイトフレーム（中間ポリカ用）を【4-1】で取付けてください。

3. （つづき）

3-6 ポリカ折板の取付け



①スチール折板とポリカ折板にタイトフレーム取付用のφ12の穴加工をしてください。

お願い

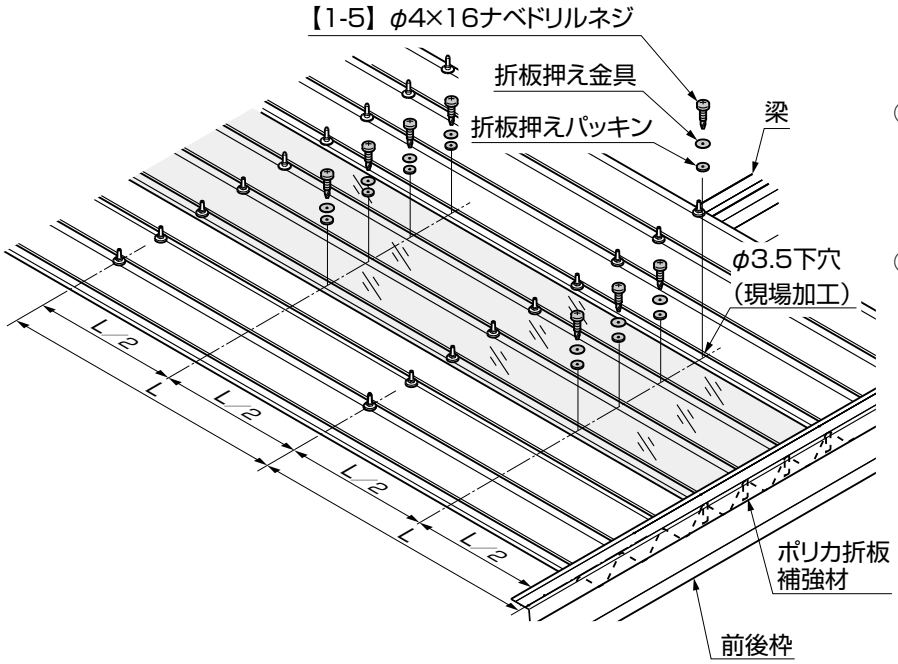
●穴加工位置の詳細は、各種取付説明書「折板加工位置図」を参照してください。

②ポリカ折板と折板固定用パッキン（ポリカ折板用）をタイトフレームに取付けてください。

お願い

●ポリカ折板取付時はスチール折板部のパッキンがポリカ用のものになりますが、品質上問題はありません。

③ポリカ折板をルーフボルトキャップと折板固定用笠ワッシャーで固定してください。



④ポリカ折板両端から梁の中間部と梁から梁の中間部に、ポリカ折板とポリカ折板補強材へφ3.5の穴加工をしてください。

⑤穴加工位置に折板押さえパッキン、折板押さえ金具、【1-5】を取付け、ポリカ折板をポリカ折板補強材に固定してください。

取説コード
D525

JZZ621057G
201105A_1039
202609G_1100